

公開・非公開の別

公開 部分公開

非公開

南エリア全体会議録

1 開催日時 令和6年6月5日（水） 午後2時から午後4時

2 開催場所 南行政センター3階大会議室

3 出席状況

構成員 はまかぜ・朝倉、手をつなぐ育成会・伊藤、浜松市社協・金沢、
新津地区社協・川嶋、新津地区民児協・澤根、包括三和・下位、
三方原病院・鈴木、ワークショップくるみ・袴田、天竜厚生会いとめ・長谷川、
ドルチェ・古橋、浜松特別支援学校・山崎

事務局 南障がい者相談支援センター・大場、古澤、岡崎
中央福祉事業所社会福祉課南社会福祉G・小枝

オブザーバー 基幹相談支援センター・後藤、玉木

4 傍聴者 10人（一般9人、基幹相談支援センター1人）

5 議事内容

1 開会

2 社会福祉課専門監 あいさつ

3 構成員・事務局あいさつ

4 報告事項

- ・浜松市障がい者自立支援協議会について
- ・日中型サービス支援型グループホーム評価について
- ・共同支援会議について
- ・地区部会（可美・新津・白脇）について
- ・令和5年度実績報告（旧南区）について

5 協議事項

- ・会則確認について
- ・代表、代表代理、副代表選出について
- ・南エリア連絡会について

6 質疑応答

7 その他

- ・次回全体会開催日程について

8 閉会

6 会議録作成者 中央福祉事業所社会福祉課南社会福祉グループ 小枝

- 7 記録の方法 発言者の要点記録又は全部記録
録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開会

2 社会福祉課専門監 藤澤よりあいさつ

・第4次浜松市障がい者計画の基本理念である「誰もが住み慣れた地域で支え合い、希望を持って安心して暮らすことができるまち」に向け、みなさまのご理解とご協力をいただければ幸いです。

3 構成員・事務局あいさつ

4 報告事項

① 浜松市障がい者自立支援協議会について

(小枝) 別添資料を基に説明する。

② 日中型サービス支援型グループホーム評価について

(大場) 資料を基に説明する。

・グループホームあやめはうす浜松南が対象。

・今年度は評価後年度として、昨年度のグループホーム評価を踏まえた取り組みについて中間評価を行い、エリア連絡会から企画会議へ報告していく。

③ 共同支援会議について

(大場) 追加資料「個別ケースについて」を基に説明する。

・個別の課題から地域課題の視点で捉え、エリアから浜松市障がい者自立支援協議会へ提言や報告を図る。

④ 地区部会（可美・新津・白脇）について

(大場) 資料を基に説明する。

・第5次浜松市地域福祉計画においては圏域を4層（近隣、概ね中学校区、包括地区、区・市）に分け、地域単位の活動に関して「地域福祉活動の拠点となる範囲」とされている。

・今年度、白脇小学校5年生を対象とした啓発活動を天竜厚生会いともで開催予定。次年度の取り組みや展開の仕方について協議していく。

※基礎講座（当事者、三方原病院）、キャラバン隊（寸劇）、体験型プログラム（電動ベッド、アイマスク・白杖、車椅子、ボッチャなど）が行う。

⑤ 令和5年度実績報告（旧南区）について

(古澤) 資料を基に説明する。

・西南センターにおける相談総数は4,348件。相談内容としては福祉サービスに関する相談内容が多い。続いて、家計や経済面に関する相談が多い傾向。

・上記のうち、南エリアに絞って抽出するが、ほぼ半数で相談内容も同じような傾向。

・令和6年4月から南障がい者相談支援センターが開設され、4月の件数は、213件。相談内容も昨年度と同じ傾向がある。

・相談件数を地区別にみると三島町、若林町が多い。

(大場) 新規の相談件数はあまり変わらないが、南行政センター内に相談支援センターが設置されたことで「身近に感じた」、「相談しやすくなった」という声があった。

◎質問事項

(伊藤委員) A3の資料はいつものか？(古澤) 昨年度のものである。

5 協議事項

① 会則確認について

(大場) 資料を基に説明する。

- ・西南エリア連絡会会則を基に作成。変更箇所は第7条代表者、代表代理、副代表を構成員から選出と記載。
- ・第3条3行目、主任相談支援専門員を追記
- ・第8条(1) 全体会年2回以上

※今年度に関しては南エリア連絡会の体制づくりを図るため、計4回開催予定。

◎質問事項

(古橋委員) 中身は他のエリアと共通か？

→(大場) 基本的には同じ。エリアによって代表者等の選出方法は異なる。

(長谷川委員) 代表・代表代理・副代表とあるが普通は副代表2名。

(川嶋委員) 第7条の文言が紛らわしいため、副代表2名の方が良いと思う。

→(大場) 第7条の文言を修正し、副代表も2名とします。

(袴田委員) 全体会を欠席した場合も会議録をいただけるか？

(伊藤委員) 市で統一してもらいたい。情報共有のためにいただきたい。

→(大場) 会議録作成後、何らかの方法で送付します。

(澤根委員) 中央区になったが、中央区としての会議はあるか？

→(後藤) 現状ではない。エリア発足初年度の地区があるため、エリアの体制を構築することが先決。必要であれば行うこともある。

② 代表、代表代理、副代表選出について

(大場) 会則に基づき代表者1名、副代表を2名の選出をする。

- ・立候補者がいないようであれば、西南エリアの時から参画頂いた構成員のワークショップくるみ・袴田委員に代表者を推薦したい。同じく西南エリアからの構成員の浜松手をつなぐ育成会・伊藤委員に副代表を推薦したい。もう一名の副代表は事務局・大場が行う。

(袴田委員) 西南エリア、その前の南エリアの時から構成員をしています。今後どうしていくのが良いか考えていますが、皆さんの協力が必要ですのでよろしくをお願いします。

(伊藤委員) よろしくをお願いします。

全体会構成員より、代表(袴田氏)及び副代表(伊藤氏、大場)について承認を得た。

③ 南エリア連絡会について

(大場) 資料を基に説明する。

- ・「身近な地域」がキーワードとなる。
- ・西南連絡会体制図を参考に年度末には南エリアの体制を構築する。
- ・南エリア担当者交流会アンケート集計表を参考に地区ごとの課題等を見つける。
- ・集計表を地域ごとに色分けした。

(後藤) 自立支援協議会には6つの機能がある。

- ・機能を利用し、南エリア連絡会の体制を構築していく。
- ・昨年度、生活部会で防災ワーキングをしたが、西南エリアの活動の積み重ねが市全体あるいは他市へと普及し、掛川市などが参考にしたいと申し出た。

6 質疑応答

(大場) 第1回ということで普段感じていることを上げてほしい。

(長谷川委員) 施設には身体と知的の障がいを持った方がいるので垂直避難が難しい。地域と施設が協力していくが、高層の施設がないため避難が難しい。

- ・白脇小学校も生徒が増員しているが発達支援学級がないため、暮らしやすいとは言えない。

(下位委員) 防災に関して高齢者施設では地域の方と訓練等を地域の方を探してはどうか。

(古橋委員) 施設が木造なので津波が来ると流される心配があるため、近隣の運送会社へ有事の際は避難場所として提供を依頼し、訓練も行っている。

(金沢委員) 防災とは離れるが、当事者の生の意見を聴ける場があると良い。

(下位委員) 情報の入り方によって生活スタイルが変わる。高齢者のみならず障がいがある方も聞き取る能力に違いはあるか。

(大場) 相談先が分からないのは高齢者も障がいをお持ちの方も同じ。

(下位委員) 相談先は回覧や広報だけでなく、地域の周知も必要である。

(古橋委員) 人によりアンテナが挙げたり下げたりする人がいる。

それは高齢者も障がいをお持ちの方も同じ。

(古橋委員) 旧南区は入所エリアが少ない。通所施設はある方であるが、緊急時のショートステイがない。そのため、どうしても北エリア施設になる。距離的にも厳しいため、不安視しているのではないか？

誘致を協議してほしい。

(山崎委員) 学校ではやはり防災が課題。東日本より外階段が校舎ごとにつき、避難訓練を定期的に行っている。屋上へ避難したのはいいがいつまで避難すればいいか。水やトイレはどうするかなど課題は山積み。

スクールバスの運行もしているが、道中で被災に合ったときの対処、緊急待機場所についても課題となる。

地域との活動も出来つつあるが地域資源の活用ができていない。方法も分からないなど課題が多い。

(後藤) 今後についてエリア活動に取り組みながら、地域と連携して繋がってい

くといいと思う。

7 その他

(大場) 次回の全体会について

次回は会場の都合で9月5日(木) 14時～16時南行政センター大会議室

8 閉会